

小笠原亜熱帯農業センターの概要と農芸員の仕事について

令和元年 12 月 23 日現在

小笠原亜熱帯農業センターは、小笠原の農業振興の拠点として、小笠原の特産農作物に関する試験研究や固有植物等の保存・増殖、熱帯性有用植物の展示栽培等を行っています。このほか農家指導や技術相談、研究成果の公表、施設公開などの島内イベント等も実施しています。

1 亜熱帯農業センターの主な業務

- パッションフルーツ等の特産熱帯果樹の安定生産技術の開発
- 施設（鉄骨ハウスやビニールハウス）を活用した農作物の生産技術開発
- 優良種苗および小笠原への適正品種の選定と導入
- アフリカマイマイ等の病虫害防除に関する試験・研究
- 小笠原諸島に自生する固有種の保存や増殖方法の研究
- ヤシ科植物をはじめとする熱帯性有用植物の展示栽培（一般公開）
- 試験研究圃場、展示圃場、農業用施設、農業用機械等の維持管理

2 施設の概要

- 敷地面積：237,432 m²
- 鉄骨ハウス等：8 棟、1,849 m²
- ビニールハウス等：12 棟、778.9 m²
- 展示・保存植物：96 科 538 種（平成 15 年度調査）
- 作業用車両、乗用トラクター、小型バックホー、多数の農業用機械を常備

3 農芸員の仕事

- 試験栽培作物の生育調査や収量調査等の研究補助
- 試験栽培圃場の管理作業
（施肥、定植、支柱の設置、除草、灌水、病虫害防除等）
- 試験栽培に用いる種苗の管理作業
（播種、挿木、接木等による繁殖並びに育苗、採種作業等）
- 展示施設の管理作業
（灌水、除草、場内清掃、展示植物の植替え、ノヤギ侵入防止対策等）
- 農業用水の維持管理作業
（ポンプの運転確認、配管の敷設状況確認、軽微な修理等）
- 農業用機械類の運転・操作
- 農業用機械類の維持管理作業
（作業前点検、作業後点検、オイル交換、グリスアップ等の軽微な作業等）
- 台風等気象被害の軽減対策並びに災害発生時の緊急対応
- その他亜熱帯農業センターの運営等に関する作業